

令和元年度 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

～多機能型事業所 C.win～

今年度は、児童発達支援のご利用はありませんでした。放課後等デイサービスのみの公表となります。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	2	遊びをコーナーごとに分けて室内を使用しています。スペースはあるのですが、それをまだまだ活用できていないことがあります。
	2	職員の配置数は適切であるか	5		活動や行事内容に合わせ、基準以上の職員配置するよう努力しています。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5		バリアフリーになっています。個室での対応、個人の特性に応じた環境作りも必要なので、なるべく死角を少なくし、常に職員が見守る中で安全性を確保するように努めています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	2	伝達もれがないように、すべての職員に対し、積極的なミーティング参画を促しています。自分の意見を積極的に言えるような環境作りを心がけます。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	2	自己評価の結果を職員で共有し、改善点などを話し合います。アンケートの実施・保護者からの要望に応じることで、業務改善につなげていきます。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	3	法人内ホームページの内容を検討中により、事業所独自のHPを作成しました。プライベートを保護した範囲内で内容を充実させようと改善中です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	第三者委員会の設置には至っておりませんが、関係機関や有識者からの評価を基に、今後のサービスの向上を図りたいと考えています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		事業所内研修に加え、スキルアップに繋がるよう外部研修にも積極的に参加できるような環境を整えていきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5		個別支援計画書については、モニタリングを行い、目標の達成度や課題を保護者様と共有して作成してまいります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	2	前もって、当日の利用者数、車両、運転手、天候、候補地までの移動時間を考慮し決定しています。しかし、当日の天候などを考慮し、その日に突然変更になることもあるので、計画を密に立てるようにしていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1	子どもの成長や季節、状況などを考慮し活動プログラムを決めています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5		その日の状況に応じた関わり方を職員間で共有し、支援にあたっています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	5		これからも個々の特性を十分に考慮し、個別支援計画と集団活動を組み合わせ、プログラムしていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	2	特に、外出する際、誰がどの子を見るのか確認し、事故防止に努めています。全職員間の情報伝達が行き届いていないこともあるので、役割分担をもっと明確にしていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	3	継続して取り組みます。何人かで気づいた点や様子を共有しているが職員全員が共有できていないということのないように努めます。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1	記録の取り方について指導もを行い、全職員が記録を取ることを徹底していきます。
18	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1	継続して取り組みます。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか	5		支援の基本活動を意識しながら、改善目標に沿って、支援していきます。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	2	日々子供たちに接している職員が参加していないことで支援の質の低下、職員全員に情報共有が困難にならないように、会議に参加します。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	1	送迎の際に日々の状況、学習の進展等聞き取り、担当者会議時に支援内容の共有をしています。些細なことが重要事項につながることもありますので伝達漏れがないように努めます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			現在はありますが、必要がある場合には、関係機関に繋ぎ、積極的に連絡体制づくりに努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等をしているか	5		スムーズに移行できるように、状況の提供を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		継続して取り組みます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3	障がいのない子と活動する場として、公園等の室外活動や休校日にイベント等へ参加し交流の機会を作っております。
	27	（地域自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか	5		継続して取り組みます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1	送迎時など常に保護者様との情報共有を図っています。それ以外にも、平日の夜間や日曜日などの面会できる時間を、先方に確認し対処しています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	2	3	家族支援プログラムとして正式なものではありませんが、進学、進級、家庭内の問題など都度、関係各位とともに問題解決を行っています。今後、ペアレントトレーニングの研修の受講も取り組みます。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	2	契約時に説明しています。利用者負担等は保護者様の説明をし、納得してもらっております。しかし、この業務は、管理者が行っており、他職員が知らないことが多いので皆が説明できるようにスキルアップに努めます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1	悩みや困りごとが相談された場合は、寄り添いながら傾聴や助言等相談業務を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		5	保護者の方の中には、他家族との交流を遠慮するご家庭もあり、保護者会の名称で開催はしていません。親子行事は開催していますので、ご参加をお願いします。
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		迅速な対応ができるよう、対応体制を整え、継続して取り組みます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	4	HPなどの整備により、随時発信していく予定です
	35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5		書類関係等、厳重に管理しています。今後も継続して取り組みます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		個々に合わせた伝達方法で情報提供に努めています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3	参加できる行事の企画も計画していきます。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5		今後もマニュアルをもとに、研修会での周知の徹底を行います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	2	非常災害発生に備え、定期的な避難訓練を継続して行います。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1	県主催の研修や法人主催の研修への参加はもちろん、毎日のミーティングでも意識の向上に努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等サービス計画に記載しているか	5		現在、身体拘束の必要のある方のご利用がありませんが、慎重に対応していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5		現在、医師の指示書に基づく適切な対応が必要な方のご利用はありませんが、慎重に対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1	全職員が積極的に取り組み、事例検討などを行っています。